

999回目の原子力艦船の横須賀入港にあたって、

原子力艦船の横須賀1000回入港抗議行動を成功させよう

原子力艦船の横須賀1000回入港抗議行動実施について

9月10日、原子力艦船トピーカが横須賀港に入港しました。1966年5月30日、原潜スヌークが初めて横須賀港に入港して以来、今回の原潜トピーカの横須賀入港で、原子力艦船の横須賀入港は999回となり、近く原子力艦船の入港が通算1000回となることが予想されます。

第1回の原潜スヌークの横須賀入港の1966年5月30日には終日デモ行進、抗議集会などに2万人が参加しました。そして、6月1日には、昼1万人、夜6万3000人の参加で入港抗議統一大会が行われました。

それ以来、神奈川県や首都圏の平和を願い、核戦争と核被害に反対する県民、市民は、この53年余にわたって、核トマホーク原潜の横須賀入港、米空母母港化、原子力空母の母港化、そして、原潜入港時の放射能測定値の改ざん、核持ち込みの疑惑など、戦い続けてきました。原子力艦船(原子力潜水艦・原子力空母)の入港のたびに、米軍への抗議文手交、抗議集会、抗議の宣伝行動などを行ってきました。

これらの53年余のたたかいの大きな節目となる原子力艦船の横須賀入港1000回を単なる通過点で終わらせるのではなく、この53年余の横須賀基地における原子力艦船の入港、核基地化への強化、基地と軍事行動の日米一体化などについて、総括的に振り返りながら「原子力艦船の1000回目の横須賀入港」にあたって、次のような抗議行動を行うこととします。多くの皆さんの参加を呼びかけるものです。

2019年9月11日

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
原水爆禁止神奈川県協議会

—記—

1. 1000回目入港時の抗議行動の内容

原子力艦船の通算1000回目の入港を確認した時点で、直ちに関係の皆さんに「緊急連絡」を行い、次の抗議行動を行います。

(1) 米海軍横須賀基地に集合し、米海軍横須賀基地司令官に「抗議文」を手交します。この抗議行動に、50人以上の参加を目標に取り組みます。

抗議文は、参加団体の連名の抗議文、団体独自の抗議文を手交します。なお、

抗議文1枚につき、1名が司令官に手交することができますので、そのことも勘案して準備の程よろしくをお願いします。

(2)米海軍横須賀基地とともに、次の関係機関に抗議の要請行動を行います。

①横須賀市<当日> ②神奈川県<当日> ③外務省(防衛省)<別途日程>
抗議文の準備については、米海軍基地に準じます。

(3)京急横須賀中央駅Yデッキで市民への宣伝行動を行います。実施時刻等については、1000回目入港時間との関係で、設定します。宣伝内容は、ハンドマイクでの市民へのアピール、チラシ配布などです。各団体や個人の多くの参加をお願いします。

2. 参加体制と当日の行動内容について

(1)参加について

1000回目の原子力艦船の入港がいつになるかは、現時点ではわかりません。その日にならないと判明しません。しかし、9月中に入港する可能性が強いと思われまます。

よって、各団体では、事前に参加について相談し、「緊急連絡」が届いたときには、だれがどのように参加するかについて、事前に討議し確認しておくようをお願いします。

(2)抗議文の準備、宣伝体制について

抗議文の準備は、前項で述べたとおりです。

宣伝グッズについては、原水協・平和委員会などで準備しますが、各団体や個人の横断幕、タペストリー、プラスターを持参することを奨励します。

(3)行動時刻と時間について

行動時刻は、1000回目の入港時刻によって決まりますが、入港当日を基本として、一定の準備時間を確保できるように設定いたします。

駅前の宣伝の時間は、およそ1時間と一を予定しています。

ハンドマイク、チラシ、横断幕等は、原水協や平和委員会、横須賀市の関係団体が準備します。

3. その他

1000回入港抗議行動は、入港当日とともに、後日、室内での「1000回抗議の集会・シンポジウム」を計画します。現在、準備中です。予定では、11月の予定です。固まり次第、チラシ等で連絡します。

10月6日(日) 13時開会、横須賀市ヴェルニー公園での「原子力空母いらない！」大集会の成功に向けて現在力を尽くしています。よろしくをお願いします。

以 上

(発信責任 神奈川県原水協045-231-6284)